

TLACに関する事項

■ TLAC1：TLACの構成

(単位：百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目		2022年度 中間期末	2023年度 中間期末
想定される処理方針について(1)				
当グループについて想定される望ましい処理方針はSPE(Single Point of Entry)アプローチです。 具体的には、主要子会社である株式会社三井住友銀行又はSMBC日興証券株式会社に財務上の危機が生じた場合、当局のイニシアチブの下、持株会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループが損失の集約先となり法的破産手続の下で処理される一方、健全性を回復した主要子会社は預金保険機構が出資する承継持株会社の傘下に移転した上で通常通り営業を続けることが想定されます。				
自己資本比率規制上の外部TLAC(2)				
1	普通株式等Tier1資本の額	(イ)	10,681,830	11,438,686
2	TLAC調整項目適用前のその他Tier1資本の額	(ロ)	733,613	1,031,944
3	子会社発行のTLAC非適格その他Tier1資本の額	(ハ)	—	—
4	その他のその他Tier1資本に係る調整項目	(ニ)	25,216	33,261
5	外部TLAC適格のその他Tier1資本の額((ロ)-(ハ)-(ニ))	(ホ)	708,396	998,683
6	TLAC調整項目適用前のTier2資本の額	(ヘ)	778,095	842,206
7	残存期間が1年以上5年以下のTier2資本のうち、自己資本比率の算定上控除されている額	(ト)	△327,666	△152,154
8	子会社発行のTLAC非適格Tier2資本の額	(チ)	—	—
9	その他のTier2資本に係る調整項目	(リ)	5,514	6,715
10	外部TLAC適格のTier2資本の額((ヘ)-(ト)-(チ)-(リ))	(ヌ)	1,100,247	987,645
11	自己資本比率規制上の外部TLACの額((イ)+(ホ)+(ヌ))	(ル)	12,490,474	13,425,015
自己資本比率規制外の外部TLAC(3)				
12	その他外部TLACの額	(ヲ)	6,600,184	8,236,014
13	特例外部TLAC調達手段(=劣後性要件を除く全ての外部TLAC適格要件を満たすもの)の総額			
14	特例外部TLAC調達手段のうち、外部TLACへの算入が認められている額			
15	TLAC完全適用以前に資金調達ビークルによって発行された外部TLAC			
16	資本再構築のための事前のコミットメント相当額	(ワ)	2,728,998	2,871,434
17	調整項目適用前の自己資本比率規制外の外部TLACの額((ヲ)+(ワ))	(カ)	9,329,182	11,107,449
自己資本比率規制外の外部TLAC(調整項目)(4)				
18	外部TLACの額(調整前)((ル)+(カ))	(ヨ)	21,819,657	24,532,465
19	破綻処理グループ間のエクスポージャー	(タ)	—	—
20	自己保有のその他TLAC負債の額	(レ)	—	196
21	その他調整項目	(ソ)	—	—
22	外部TLACの額(調整後)((ヨ)-(タ)-(レ)-(ソ))	(ツ)	21,819,657	24,532,268
リスク・アセットの額及び総エクスポージャー(5)				
23	リスク・アセットの額	(ネ)	77,971,394	82,040,996
24	総エクスポージャーの額	(ナ)	236,237,350	252,687,336
外部TLAC比率及び資本バッファ(6)				
25	資本バッファ勘案前のリスク・アセットベース外部TLAC比率((ツ)/(ネ))		27.98%	29.90%
25a	リスク・アセットベース外部TLAC比率		24.45%	26.24%
26	総エクスポージャーベース外部TLAC比率((ツ)/(ナ))		9.23%	9.70%
27	連結資本バッファ比率		7.63%	8.22%
28	最低連結資本バッファ比率		3.53%	3.66%
29	うち、資本保全バッファ比率		2.50%	2.50%
30	うち、カウンター・シクリカル・バッファ比率		0.03%	0.16%
31	うち、G-SIB/D-SIBバッファ比率		1.00%	1.00%
日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーベース外部TLAC比率(7)				
	総エクスポージャーの額	(ナ)	236,237,350	252,687,336
	日本銀行に対する預け金の額		54,003,050	62,183,665
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額	(ナ´)	290,240,400	314,871,002
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーベース外部TLAC比率((ツ)/(ナ´))		7.51%	7.79%

■TLAC2：内部TLAC等の債権者順位(主要子会社別)

株式会社三井住友銀行（単体）

(単位：百万円)

国際様式の該当番号	項目	2022年度中間期末								合計	
		債権者順位									
		1		2		3		4			
		最劣後						最優先			
1	破綻処理対象法人が債権者か否か	✓	—	✓	—	✓	—	✓	—		
2	債権者順位に関する説明	普通株式		その他Tier1 資本調達手段		Tier2 資本調達手段		その他内部TLAC 調達手段			
3	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法勘案後) (イ)	3,545,551	—	1,235,000	—	1,084,999	—	7,464,631	—	13,330,182	
4	うち除外債務 (ロ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	3,545,551	—	1,235,000	—	1,084,999	—	7,464,631	—	13,330,182	
6	うち内部TLAC適格のもの	3,545,551	—	1,235,000	—	1,084,999	—	6,598,801	—	12,464,352	
7	残存期間	1年以上2年未満	—	—	—	353,417	—	871,235	—	1,224,652	
8		2年以上5年未満	—	—	—	260,000	—	3,119,257	—	3,379,257	
9		5年以上10年未満	—	—	—	348,493	—	1,999,483	—	2,347,977	
10		10年以上(永久債を除く)	—	—	—	—	123,088	—	608,825	—	731,913
11		満期がないもの(永久債を含む)	3,545,551	—	1,235,000	—	—	—	—	—	4,780,551

SMBC日興証券株式会社（単体）

(単位：百万円)

国際様式の該当番号	項目	2022年度中間期末						合計
		債権者順位						
		1		2		3		
		最劣後				最優先		
1	破綻処理対象法人が債権者か否か	✓	—	✓	—	✓	—	
2	債権者順位に関する説明	普通株式		長期劣後債務・ 短期劣後債務		その他内部TLAC 調達手段		
3	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法勘案後) (イ)	467,714	—	—	—	—	—	467,714
4	うち除外債務 (ロ)	—	—	—	—	—	—	—
5	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	467,714	—	—	—	—	—	467,714
6	うち内部TLAC適格のもの	467,714	—	—	—	—	—	467,714
7	残存期間	1年以上2年未満	—	—	—	—	—	—
8		2年以上5年未満	—	—	—	—	—	—
9		5年以上10年未満	—	—	—	—	—	—
10		10年以上(永久債を除く)	—	—	—	—	—	—
11		満期がないもの(永久債を含む)	467,714	—	—	—	—	—

株式会社三井住友銀行（単体）

（単位：百万円）

国際様式の該当番号	項目	2023年度中間期末								合計
		債権者順位								
		1		2		3		4		
		最劣後						最優先		
1	破綻処理対象法人が債権者か否か	✓	—	✓	—	✓	—	✓	—	
2	債権者順位に関する説明	普通株式		その他Tier1 資本調達手段		Tier2 資本調達手段		その他内部TLAC 調達手段		
3	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法勘案後) (イ)	3,545,551	—	1,628,000	—	1,353,421	—	8,891,615	—	15,418,587
4	うち除外債務 (ロ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	3,545,551	—	1,628,000	—	1,353,421	—	8,891,615	—	15,418,587
6	うち内部TLAC適格のもの	3,545,551	—	1,628,000	—	991,656	—	7,986,191	—	14,151,398
7	残存期間	1年以上2年未満	—	—	—	63,000	—	699,951	—	762,951
8		2年以上5年未満	—	—	—	361,000	—	4,166,044	—	4,527,044
9		5年以上10年未満	—	—	—	290,933	—	2,482,747	—	2,773,680
10		10年以上(永久債を除く)	—	—	—	276,723	—	637,447	—	914,170
11		満期がないもの(永久債を含む)	3,545,551	—	1,628,000	—	—	—	—	—

SMBC日興証券株式会社（単体）

（単位：百万円）

国際様式の該当番号	項目	2023年度中間期末						合計
		債権者順位						
		1		2		3		
		最劣後				最優先		
1	破綻処理対象法人が債権者か否か	✓	—	✓	—	✓	—	
2	債権者順位に関する説明	普通株式		長期劣後債務・ 短期劣後債務		その他内部TLAC 調達手段		
3	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法勘案後) (イ)	717,714	—	—	—	—	—	717,714
4	うち除外債務 (ロ)	—	—	—	—	—	—	—
5	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	717,714	—	—	—	—	—	717,714
6	うち内部TLAC適格のもの	717,714	—	—	—	—	—	717,714
7	残存期間	1年以上2年未満	—	—	—	—	—	—
8		2年以上5年未満	—	—	—	—	—	—
9		5年以上10年未満	—	—	—	—	—	—
10		10年以上(永久債を除く)	—	—	—	—	—	—
11		満期がないもの(永久債を含む)	717,714	—	—	—	—	—

■ TLAC3：外部TLAC等の債権者順位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（単体）

（単位：百万円）

国際様式の該当番号	項目	2022年度中間期末				合計	
		債権者順位					
		1 最劣後	2	3	4 最優先		
1	債権者の優先順位に関する説明	普通株式	その他Tier1 資本調達手段	Tier2 資本調達手段	無担保シニア債 ※1		
2	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法 勘案後) (イ)	3,906,550	735,000	1,084,999	7,529,405	13,255,955	
3	うち除外債務※2 (ロ)	—	—	—	58,194	58,194	
4	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	3,906,550	735,000	1,084,999	7,471,210	13,197,760	
5	うち外部TLAC適格のもの	3,906,550	735,000	1,084,999	6,605,380	12,331,930	
6	残 存 期 間	1年以上2年未満	—	—	353,417	871,235	1,224,652
7		2年以上5年未満	—	—	260,000	3,120,769	3,380,769
8		5年以上10年未満	—	—	348,493	1,999,483	2,347,977
9		10年以上(永久債を除く)	—	—	123,088	613,891	736,980
10		満期がないもの(永久債を含む)	3,906,550	735,000	—	—	4,641,550

※1 SMFGグループ内取引を控除しております。

※2 金額的な重要性を考慮の上で保守的に計上を行っております。

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（単体）

（単位：百万円）

国際様式の該当番号	項目	2023年度中間期末				合計	
		債権者順位					
		1 最劣後	2	3	4 最優先		
1	債権者の優先順位に関する説明	普通株式	その他Tier1 資本調達手段	Tier2 資本調達手段	無担保シニア債 ※1		
2	資本及び負債の合計(信用リスク削減手法 勘案後) (イ)	3,909,552	1,128,000	1,353,421	9,242,061	15,633,034	
3	うち除外債務※2 (ロ)	—	—	—	83,566	83,566	
4	資本及び負債の合計(除外債務控除後) ((イ)-(ロ))	3,909,552	1,128,000	1,353,421	9,158,494	15,549,467	
5	うち外部TLAC適格のもの	3,909,552	1,128,000	991,656	8,253,069	14,282,278	
6	残 存 期 間	1年以上2年未満	—	—	63,000	700,967	763,967
7		2年以上5年未満	—	—	361,000	4,361,149	4,722,149
8		5年以上10年未満	—	—	290,933	2,548,109	2,839,042
9		10年以上(永久債を除く)	—	—	276,723	642,844	919,567
10		満期がないもの(永久債を含む)	3,909,552	1,128,000	—	—	5,037,552

※1 SMFGグループ内取引を控除しております。

※2 金額的な重要性を考慮の上で保守的に計上を行っております。